

特集

福岡の海と景観

「21世紀のまちづくりを考える」



海を抱くまち・福岡。
見慣れた福岡の景を海の上から眺めてみる。
青い空、緑の山々を背景にした市街地。
こんなにもまちと海が密接だったのかと、あらためて思う。
海から見た新しい福岡のまちづくりを
景観ウォッチャー5人と考えてみた。



段原 陽介さん
福岡大学工学部3年生。建築専攻。建築だけでなく景観にも関心を寄せる行動派学生。



川橋 紗貴さん
福岡大学工学部3年生。建築専攻。好奇心旺盛な建築家の卵。



長谷川 正和さん
設計事務所勤務。清水港の近くで生まれ、東京・横浜の港も身近に見てきた「港通」。



永井 洋子さん
インテリア&色彩コーディネーター。現在、春日市総合計画審議会委員。環境心理学も勉強中。



出口 敦さん
九州大学助教授。専攻は建築・都市計画。さまざまなシンポジウムや会議でアドバイスを求められている、まちづくりの専門家。

